

令和6年度カジノ管理委員会行政事業レビュー外部有識者会合 議事概要

1 日時：令和6年6月7日（金）13：35～14：20

2 場所：カジノ管理委員会12階大会議室（web会議システムを併用）

3 出席者

外部有識者（座長以外は五十音順。）

中央大学法学部教授

工藤 裕子（座長）

横浜国立大学経営学部長 兼担

大森 明

横浜国立大学大学院国際社会科学研究院教授

東京経済大学経済学部教授

中村 豪

4 議事概要

（1）開会（冒頭、委員の互選により、工藤委員が座長として選任された。）

（2）行政事業レビュー

カジノ事業者等の監督体制の整備事業について、事業所管担当者から事業の概要、実施状況、自己点検結果等について説明。

その後、外部有識者との間で質疑・議論が行われ、以下の所見が示された。

○カジノ事業者等の監督体制の整備

- ・ カジノゲームへの依存及びカジノ広告勧誘に関する文献調査

カジノゲームへの依存及びカジノ広告勧誘に関する文献調査については、調査対象の分野に関し、これまでの調査結果を踏まえて適切に設定されている旨確認できた。ギャンブル等依存症対策の推進については、関係省庁との情報共有が重要である。

- ・ 海外におけるカジノ事業の監督手法の調査・分析及び我が国のカジノ事業の監督事務の実施手法に係る提案

海外におけるカジノ事業の監督手法の調査・分析及び我が国のカジノ事業の監督事務の実施手法に係る提案については、調査対象国の妥当性が確認できた。今回の調査結果を我が国の監督手法を検討するに当たりどのように取り入れるかが重要である。

- ・ カジノにおけるマネー・ローンダリング対策の監督・啓発に資する取組状況調査

カジノにおけるマネー・ローンダリング対策の監督・啓発に資する取組状況調査については、海外規制当局、カジノ事業者との情報共有が重要である。

- ・ 監督関連事務にかかるシステム化検討（業務詳細・機能分析）等業務

監督関連事務にかかるシステム化検討（業務詳細・機能分析）等業務については、システムを運用していく過程で必要な機能を追加できるよう柔軟な構築方法が重要である。

（3）閉会

※ 会合終了後、外部有識者からカジノ管理委員会委員長に対して、講評が行われた。